

救急外来受診の手引き(11)

—めまい編—

公立世羅中央病院脳神経外科 副院長 門田 秀二

めまいを感じた時、皆さんは何科を受診しますか？おおむね耳鼻科か内科を思いつくのではないのでしょうか？循環器科、脳神経外科や神経内科を受診する場合もあるでしょう。めまいと患者さんが表現する場合、大体3種類あります。立ちくらみ、ふらつき、回転性めまい (vertigo) など。

立ちくらみは、立ったらくらつき」としたという症状です。立った瞬間に血圧が下がり、意識中枢である脳幹網様体に流れる血液が少なくなった状態です。起立性低血圧や不整脈などが原因のことが多いので、循環器科か内科受診がよいでしょう。

ふらつきは、浮いたような感じ(浮動感)揺れている感じ(動揺感)で多くは中枢神経の平衡障害で脳幹や小脳が平衡中枢になります。椎骨基底動脈循環不全というお薬が必要な病態がひ

そんでいることも多いので、脳神経外科・神経内科を受診するのがよいでしょう。

一番多いのは、回転性めまい (vertigo) で、原因は耳鼻科領域と神経内科／脳神経外科領域の場合があります。Vertigo (ヴァーティゴ) と発音します) は「自分の身体が空間に対し、もしくは空間が自分に対して回転している感覚」と定義されています。

回転性めまいは眼球が回る眼振(がらんしん)のために発生します。嘔気や嘔吐を伴う場合が多いです。回転性めまいの原因には、生命に危険のない耳鼻科領域のメニエール病と良性発作性頭位変換めまい症、生命に危険のあり得る脳卒中(脳幹梗塞や小脳出血／小脳梗塞)、脳腫瘍があり得ます。後者の場合は、脳神経外科を受診してください。

耳鼻科領域のメニエール病と良性発作性頭位変換めまい症は内耳というところにある三半規管の不調が原因です。回転性めまいと嘔吐／嘔気が発生し、急に世界が回るように感じるため大変不愉快な症状です。心理的にも不安が増悪し、パニックになる場合もあります。落ち着いて耳鼻科あるいは内科を受診してください。回転性めまいに急な難聴を伴う場合は、突発性難聴なども鑑別診断に挙げられます。

回転性めまいに頭痛・嘔吐や麻痺／意識障害が一緒であれば、小脳出血／小脳梗塞や脳幹梗塞を調べる必要がありますので、脳外科／神経内科を受診してください。症状が激しい場合や進行性の場合は救急車を呼ぶのを躊躇しないでください。特に小脳出血の場合は、頭痛・回転性めまい・嘔吐が同時に襲ってきます。生命の危険性もあり、開頭血腫除去術の適応になることも多いです。

〈参考文献〉

植村 研一
頭痛・めまい・しびれの臨床
病態生理学的アプローチ
医学書院 1987

太田 富雄
脳神経外科学 改訂第11版

金芳堂 2012